



三種町

議会だより

未来投資で地域を元気に

令和8年
5月1日発行

第81号

令和8年度当初予算
未来投資で地域を元気に 2

一般質問 7人が14項目を質す 7

表彰、勇退 15

ぼくたち・わたしたちの声
まちかディタビュー 16

令和8年度予算

未来投資で地域を元気に

議会運営・映像配信システム導入業務

事業費 **3115万8千円**

議場内に発言者の正面からの様子や発言時間などを映すモニターを設置することで傍聴者に、インターネット配信により議場に来られない方にも、議場内の様子がより伝わりやすくなることが期待される。



琴丘小・山本小・八竜小整備事業

事業費 **9億7162万5千円**

琴丘小では、廃校となる学校からのエアコン移設に伴う改修工事などを実施する。
また、山本、八竜各地域の小学校統合にあたり、山本中では校舎の改修工事、小学校用プール新設工事などを実施し、八竜中では、通級教室の移設などの改修工事を実施する。



病児保育事業負担金

事業費 **93万8千円**

仕事などにより保護者が病気の子どもの看護が困難な場合に、専用スペースで一時的に保育を実施するもの。利用施設はJCHO秋田病院（能代市）のみであったが、令和8年度から1施設増（平野医院）となる。



ハザードマップ作成業務

事業費 **665万5千円**

Web版と冊子版のハザードマップの更新を行う。

冊子については、6800部製本し、全戸配布を行う。



令和8年度 予算一覧

一般会計	112億7775万7千円	原案可決
国民健康保険事業勘定特別会計	20億2794万7千円	原案可決
後期高齢者医療特別会計	3億6383万1千円	原案可決
介護保険事業勘定特別会計	27億2343万7千円	原案可決
介護サービス事業勘定特別会計	1099万3千円	原案可決
温泉事業特別会計	1458万6千円	原案可決
水道事業会計	3億7754万7千円	原案可決
下水道事業会計	13億3837万4千円	原案可決

◇ 一般会計当初予算への付帯意見 ◇

サンドクラフト事業のあり方検討

サンドクラフト事業の予算は、令和6年度1450万円、7年度1800万円、8年度2228万円と年々増加している。

物価上昇や30周年記念事業を控えている事情については理解するものであるが、記念事業終了後は、今後の事業の適正なあり方について、予算面を含めて検討されることを期待する。



会議録検索システム

会議録は6月頃掲載予定
すべての審議内容は、6月以降こちらからご覧いただけます。▼



ペーパーレス会議システム

議案・資料などを公開中
審議された議案については、こちらからご覧ください。▼



町ホームページ

3月定例会の審議結果
審議されたすべての議案等の審議結果は、こちらからご覧ください。▼



予算特別委員会審査

令和8年度予算は、全議員（15人）で構成される予算特別委員会（委員長・荒谷要伸、副委員長・平賀真）に付託され、3月3日、4日、10日に審査されました。

芦崎処理場は経費削減で下水道へ

問 資本的収支に関し、芦崎処理場の農業集落排水について、下水道へ接続する理由は。

答 すべての処理場について、機械設備更新を行った平成23年度から耐用年数である15年が経過するため、設備の大規模更新を行った場合と、付近の下水道へ接続した場合の工事費用とランニングコストについて費用比較を行っている。

運営体制強化による人件費の上昇

問 ゆめろんの指定管理料について、令和7年度比で約1600万円増額の理由は。

芦崎処理場は、将来的な経費削減が見込まれたため、下水道へ接続することとした。

8年度からの負担金の周知を

問 子ども・子育て支援納付金分現年課税分に関し、令和8年度は負担金として1世帯あたり約5000円収めることが想定されるため、町民へ周知すべきでは。

答 税務課と協議し、広報みたねなどで周知したいと考えている。

管理強化ゾーンはどうするのか

答 人件費である。支配人や料理人の新規採用による増額、正社員とパート社員分の増額が大きな要因となっている。

問 有害鳥獣対策費に関連して、能代市では、クマ対策として管理強化ゾーンを設置し、捕獲無制限で行うことで、生活エリアへの出没を抑制するとの考えであるが、本町ではすみ分け対策についてどう考えているか。

答 管理強化ゾーンとして石倉山公園周辺を設定している。これは全県同様な動きで県より指示があり、町でも実施している。今現在1つの許可で上限6頭まで捕獲できることになっているが、管理強化ゾーン設置により捕獲無制限が可能となる。



指定管理料が人件費などにより増額

スクールバス8台体制で運用

問 スクールバス運転業務委託・スクールバスリース料について、小中学校スクールバスの概要は。

答 既存のスクールバス4台はリース契約を継続し、従来のせきれい号をスクールバスに切替え、新規に3台購入することで、8台の運用とする。

新規に対する購入・リースの判断は、購入額とリース料とを比較した結果、購入の方が安価となったためである。

琴丘地域はせきれい号と新規1台の2台体制とし、八竜地域は既存1台と新規2台の3台体制とし、山本地域は既存3台の3台体制として運用する計画である。

一般会計に対する討論

指定管理料を抑え

経営努力すべき

伊藤 千作 議員

ゆめろんの指定管理料は、令和7年度は約5400万円、8年度は7040万円に、約1500万円増えている。経営が上手くいかず、赤字幅が増えているが、経営の中身を吟味し、対策を立てるべきだ。指定管理料を抑え、経営努力をすべきだ。

経営改善計画を立てて

補正すべき

清水 欣也 議員

ゆめろんの経営が非常に厳しい状態にあることから、指定管理料の予算額7040万円は、当面7年度の現計予算額5484万円に対応することにし、残りは経営分析と経営改善計画を立て、その過程で適正額を判断し、補正するべきである。

反対

反対

委員会 の採決結果	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		島山 勝巳	三浦 敦	高橋 満	平賀 真	成田 光一	遠藤 勝昭	児玉 儀広	森山 大輔	伊藤 千作	清水 欣也	荒谷 要伸	三村 眞	小澤 高道	堺谷 直樹
一般会計	可決	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	委	○	○	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 委…委員長(採決に加わりません)

修正動議に対する討論

一般会計

ゆめろん指定管理料7040万円
増額分1556万円を減額する修正動議

手遅れになる前に経営改善を急げ

発議者

清水 欣也 議員
森山 大輔 議員

否決

ゆめろんの指定管理料は、設立当初の約2000万円から増え続け、営業規模に対する割合が30%超となるいびつな経営が問題視される。
また、ゆめろんの設備は、機能や能力の低下が利用者サービスの低下に繋がっており、指定管理料制度のあり方や積算基準の見直しをする段階ではないか。
そして、指定管理料増額分については、全員協議会での説明がなく、経緯が全く見えない。経営分析をした上で、経営改善計画を立てるとともに、その過程で適正な指定管理料を探ることを優先すべきである。

反対

賛成

社会的要因による

増額と判断

遠藤 勝昭 議員

人件費や物価高騰など増額せざるを得ない社会的要因によるものと判断する。本町の観光事業、町民の保養施設などの重要な事業を推進していくためには、必要不可欠な予算であることから修正案を認めることはできない。

問題を先送りせず

経営改善すべき

森山 大輔 議員

指定管理料は増額により事業費全体の3分の1に膨らむ。
ゆめろんは赤字経営が続いており、町として支えていくためにも、問題を先送りするのではなく、経営改善計画の中で必要額を明示した上で予算計上すべきである。

本会議 の採決結果	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		島山 勝巳	三浦 敦	高橋 満	平賀 真	成田 光一	遠藤 勝昭	児玉 儀広	森山 大輔	伊藤 千作	清水 欣也	荒谷 要伸	三村 眞	小澤 高道	堺谷 直樹	加藤彦次郎
一般会計予算に対する修正動議	否決	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	欠	●	●	●	議

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 議…議長(採決に加わりません)

今回のピツクアツク



道路除排雪業務

積雪量の増加により除排雪にかかる委託料を増額計上、総額は2億円となった。

増額5000万円

3月定例会議案審議

一般会計

寄付金

問 寄付金が470万円増額しているが、詳細は。

答 企業版ふるさと納税寄付金は、1社から50万円の寄付をいただいている。
地域共生策推進寄付金は、「秋田・能代・三種・男鹿オフショアウインド」から三種中学校のSTEAM教育にかかる準備などへ充当してほしいと350万円の寄付をいただいている。

企業版ふるさと納税

問 企業版ふるさと納税寄付金の充当先は。

答 「稼げる産業をつくる戦略事業」のうち、地域雇用創出促進事業への充当を予定している。

問 地域雇用創出促進事業のうち、具体的にどんな事業に充当するのか。
答 企業版ふるさと納税の充当先については、地域再生計画に基づき、寄付対象事業を「若者が定住し賑わう戦略事業」「稼げる産業をつくる戦略事業」「みたねの子ども育成戦略事業」「住民と連携した地

域戦略事業」に区分しており、寄付者が選択する。
なお、寄付者は、具体的な事業については、選択できない。

スクールバス

問 スクールバス整備事業（合併特例債）について、3362万8000円減額している理由は。

答 指名競争入札による差額分である。

みた子さんの解説



※ 「STEAM」は、科学・技術・工学・芸術・数学の英単語の頭文字を組み合わせた造語です。
STEAM教育の前進であるSTEM教育では、理数的思考を重視していましたが、近年、Art（芸術・文化・生活・政治経済など広い分野が含まれる。）が加わり、創造力や課題解決能力の育成を志向する教育方針が推進されています。

7 議員が登壇

14項目を質す^{ただ}

質 問 者

- P 8 清水 欣也 議員 ○地産地消と産直販売所の活動支援について
- P 9 三村 眞 議員 ○保育体制の強化について
○「子育てを中核としたまちづくり」について
- P10 森山 大輔 議員 ○D X 推進
○人口減少対策
○森岳温泉活性化
- P11 平賀 眞 議員 ○除雪車の運行基準は住民要望に対応できているのか
●職員のボランティア休暇の取得状況は
●田川町政8年間の思いは
- P12 伊藤 千作 議員 ●自治会館（仮称）のトイレの水洗化について
○秋田県後期高齢者医療保険料の大幅増額改定について
- P13 成田 光一 議員 ○三種川河口付近の浚渫^{しゅんせつ}について
- P14 畠山 勝巳 議員 ○今冬の豪雪の経験と除雪対応の課題について
○みらい創造プラン（素案）の森岳温泉活性化について

※ ●印の質問については、誌面の都合上掲載できなかったものです。
おって町ホームページに会議録を掲載しますので、そちらをご覧ください。

一般質問は3月11日に行われました。

一般質問とは、年4回の議会定例会において行われます。
議題とは関係なく、議員が町政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。
通告制が採用されており、通告（質問の届出）は、議員個人の判断によります。

問 産地直売所の支援に協議の場を

答 意見を聞く機会を設け対応を検討



しみず きんや
清水 欣也 議員

問 産地直売所は、地産地消を具現化する重要な拠点である。
また、出荷者の収入確保という経済的理由だけでなく、地域の人との交流の場、安らぎの場など地域に対する社会貢献に大きく寄与している地域組織である。

答 しかし、私達は、長い間このような産地直売所の役割、貢献度を見過ぎてきた。
その間に売り上げや賑わいが下降線を辿り、今後明るい見通しとは言えない状況にある。

町長 は、この地域における地産地消と産地直売所の役割と運営の現状をどのように受け止めているか。

町長 産地直売所は、地産地消の代名詞とされ、地域の活力を維持・発展させる上でも大切な役割を担っている場であると認識している。しかしながら、出荷者の高齢化による農産物の減少や売り上げの落ち込み、人件費などの維持管理費の増大など切実な経営問題を抱えていることも承知しているところである。

問 町内の直売所は、指定管理料がなくても4か所で年間6億円以上を売り上げている。また、直売所の来店交流人口は年間50万人を超えている。

答 さらに出荷者や従事関係者も600人を超える。
このように、直売所が地域において社会的にも経済的にも大きな位置を占めているにもかかわらず、町は直売所に対して特段の手立てをしてこなかった。いわゆる産地直売所が定める直売所に対する支援策も講じてこなかった。これでは産直関係者に顔向けができない。今後の支援に向けて、まずは直売所と協議する機会を作るべきである。

町長 町内の産地直売所は、循環型の地域経済を形作る上で大変大事な組織であることから、経営が年々厳しくなってきた今、その支援が必要な時期に差し掛かっていると思っている。

今後ハード、ソフト両面からの可能な支援策を模索する。それに向けて直売所とアポを取った上で経営者側の意見を聞く機会を設けたい。



地域への社会貢献に大きく寄与する直売所の支援を

問

※**保育民営化について町長の意見は**

答

すぐ結論が出ない状況である

問 正職員保育士の増員は考えているのか。

町長 児童数の推移や退職者の状況に加え、

保育ニーズの多様化や支援を必要とする児童の増加を踏まえ、中長期的な視点で検討する。

問 管理職級の職員が定期的に保育園に足を運び、保育状況など間く機会があるのか。

課長等 園長会議への参加は年に数回だが、重要な連絡事項がある場合など必要に応じて参加している。日常的にも、各園と随時連絡を取り、状況把握に努めている。



みむら まき 議員
三村 眞



公立保育園運営の継続を

問 公立保育園の運営を継続してもらいたいが、町長の率直な意見は。

町長 今いる職員の方々の身分を含めて、納得できるような形で

移行するのか、それとも公営でいくのか、まだテーブルが上がっていない。すぐ結論が出ないため、きちんと検証しながら進むべき方向を決めたい。

子育てを中核としたまちづくり

問 みつしゅなど、他の課が所管する分野において、活かすための取組はあるのか。

課長等 他課の分野に関する相談などは、担当関係各課と情報提供しながら共有している。

問 職員間でアイデアを出し合ったり、政策に活かす場所があるか。

課長等 役場の中で政策提言チームを作り、若い人の意見を反映させたい意図がある。

問 本町のまちづくりにおける中学校の役割や存在は。

教育長 子どもたちがたくましく生き抜く力を育む場と、地域と共に教育活動を推進し、ふるさとを愛する心を育む場と考えている。

問 イベントがある時など、町民に呼びかけたり、一緒に学べる機会があればいいのだが。

教育長 学校も町民も共に学び合えるという形ができればいいと思っている。

教えて
みた子さん



※ 地方自治体が公立保育園の運営を、社会福祉法人や株式会社などの民間事業者に委ねるのです。

問 人口動向の見通しは

答 令和7年度の出生数は24人



もりやま だいすけ 議員
森山 大輔

問 出生数の推移と見通しは。

町長 出生数は平成27年度が73人であり、令和7年度は24人、令和12年度は35人を見込んでいる。

問 20歳から39歳の若年人口の推移と見通しは。

町長 若年人口は平成27年度が2707人であり、令和7年度は1545人、12年度は1246人を見込んでいます。

問 町単独住宅の入居状況は。

町長 1件申込みがあった。

問 町営住宅と町単独住宅の家賃は。

町長 町営住宅の平均値が2万227円、中央値が1万7100円、単独住宅は4万5000円から5万円である。

問 家賃見直しや払い下げの必要は。

町長 応募状況に応じて検討したい。

問 能代市などを参考に起業支援策を構築する考えは。

町長 先進事例に学びながら、必要に応じて講じる。



町単独住宅の状況は

DX推進^{※1}

問 若年層がデジタル技術を生かせる環境整備は。

町長 サテライトオフィス整備や起業支援には、コミュニケーションの維持や産業振興も期待される。課題を整理しながら検討したい。

森岳温泉活性化

問 長期ビジョンを策定する考えは。

町長 長期ビジョンは有効であるが、まずは現行の事業に取り組んでいく。

みた子さんの解説



※1 デジタルトランスフォーメーションの略であり、情報通信技術を浸透させ、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させることです。

※2 企業の本社や主要拠点から離れた場所に設置される小規模のオフィスであり、都市型・郊外型・地方型の3種類があります。

問 除雪体制は要望に対応しているか

答 地域のニーズに合わせて改善を図る

問 町では住民の生活に支障が出ないように配慮しながら除雪作業を進められていると思うが、今冬の除雪作業に対し、町民から要望、苦情が寄せられたか問う。

要望に対しては、その都度対処されたと思うが、出勤基準など追加すべき点がないか問う。

町長 除雪は、地域の産業経済活動と住民生活の安定を図るため、安全で円滑な道路交通の確保を目的とし、道路延長276・6kmを除雪車50台体制で実施している。

出勤基準として一般除雪は降雪量10cm以上あるいは5cm程度で、それ以上になると予想される場合、また吹き

溜まりが生じる恐れがある場合に出動することになっている。

このほかにも道路の状況により路面整正や拡幅除雪、凍結抑制剤散布についても定めている。

今季1月に入ってから断続的に雪が降り、下旬には強い冬の気圧配置の影響で、吹き溜まりの発生や降雪が続き、道幅が狭くなるなど、道路状況が悪くなったことから拡幅除雪や排雪作業を行い対処した。

苦情、要望は228件に上り、その中でも多かったのは悪路に関するもので67件であった。苦情があった場合には現地を確認し、その都度オペレーター

に出動や改善の指示をするなど対応しているが、今後も引き続き各地域のニーズに応えられるよう改善を図りながら、安全で円滑な道路交通を確保できるように取り組んでいく。

問 高齢者世帯等除排雪支援事業の除雪状況は如何か。

町長 利用者（765世帯）から「まだ除雪に出来ない」「もつと丁寧に除雪してほしい」など、多くの苦情や意見、要望が寄せられた。利用者の皆さまには、必ずしも希望の日時に作業できない場合もあることを事前に伝えているが、一つ一つ丁寧に説明し、ご理解いただけるように対応している。作業員不足が大きな要因となっている。



ひらが 平賀
まこと 真 議員



令和8年2月上旬積雪により道幅が狭くなった道路

問 後期高齢者保険料負担増の賛否は

答 事業継続に必要であり賛成した



いとう せんさく 議員
伊藤 千作

問 75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療において、秋田県25市町村では、令和8・9年度後期高齢者保険料の改定について、広域連合から県内25市町村に示され、均等割を1万円以上、所得割率を0・7%以上上昇させる方針が示された。

町長 広域連合からは、令和7年度の療養給付費の急激な増大に対応するため、7年度において、余剰金は残らない見込みであり、また、8年度当初で約22億円ある財政調整基金については、国・県支払基

金の負担金・交付金の返還金が20億円から23億円程度と予測されており、その返還金の財源としなければならぬことから、料金改定に投入できる実質的財政がない状況にあるとの説明であった。

また、現在約12億円ある財政安定化基金は、現段階では、広域連合の余剰金・財政調整基金がない状況が想定されるため、今後の療養給付費の急増などの不測の事態に備えた財源として必要であることから今回は保険料上昇抑制のための財源として基金を使わないこととしたとの説明であった。

後期高齢者医療制度について

更新日：2025年06月04日

後期高齢者医療制度は、高齢者の方の医療を国が全額で支えようとする制度で、75歳以上の方と一定の障がいがある65歳～74歳の方が対象です。

- ① 負担額について
- ② 高額立付金を受ける方法(後期高齢者医療)
- ③ 受けられる福祉について
- ④ 後期高齢者医療保険料の特別徴収手続について
- ⑤ 後期高齢者医療給付を受けましょう

詳しくは、秋田県後期高齢者医療広域連合のホームページをご覧ください。

にこうなったとの説明があり、事前連絡もない市町村からは多くの意見があったようである。

たしか秋田県後期の財政調整基金は、12億円以上あるはずで、さらに繰越金が4億円以上あるので、16億円あることでその半分の8億円を充てても、1人4000円以上値下げできるはずである。

また、現在約12億円ある財政安定化基金は、現段階では、広域連合の余剰金・財政調整基金がない状況が想定されるため、今後の療養給付費の急増などの不測の事態に備えた財源として必要であること

保険料の大幅値上げについての考えは

問

三種川河口の浚渫強く要望を

※しゅんせつ

答

県と危険な状況を共有し対応する

問 河川改修が進んで、水流の速度が速くなつたように感じる。また、大雨のたびに河口部周辺の住民は避難を余儀なくされている。現状を見るにいつ氾濫が発生してもおかしくない状況だと思うが、町当局としてはどのような認識か。

町長 下流域の住民の方々が不安を抱え、避難をしている状況については深刻に受け止めている。

令和7年9月2日の大雨時の河川水位上昇のスピードは、肌感覚でも速くなったと感じており、7年の大雨時の水位の状況と、令和5年7月14日の大雨時

のピーク水位到達時間を比較すると、下岩川観測所と森岳観測所では、令和5年が4時間30分であったのに対し、7年が2時間40分、森岳観測所と川尻観測所では5年が4時間20分であったのに対し7年

が1時間50分での到達と、水位の上昇が短時間で下流へと推移している状況が確認できた。

森岳観測所と川尻観測所では、近年の大雨で氾濫危険水位を度々超えていることから、これまで以上の大雨となった場合、現状のままでは非常に危険な状況にあると認識をしている。

県との定期的な意見交換を通じて、下流域の危険な状況を共有し

適切な対応をしていく。

問 国道7号川尻橋から上流部分の、堤防の改修工事の情報があるが、県からは説明を受けているのか。

町長 川尻自治会から要望があり、改修について県へ要望している。県では平成28年から調査に着手し、令和元年度に川尻橋上流323・4mについて護岸整備の計画が示されている。

令和3年度には上流側から工事が進められていたが、7年度には住宅がある下流側について、築堤整備に工法変更したい旨の説明があった。

その後、住民説明会において、工法変更に対する承諾を得たことから詳細な設計ができた次第、4月以降に再度住民説明会を行うこととしている。



なりた こういち
成田 光一 議員



令和7年度に浚渫工事が行われた東部承水路（久米岡付近）

みた子さんの解説

※ 川の水质改善、また、洪水などによる災害を防止するため、海や川などの水底に堆積した土砂や汚れを除去する土木工事のことです。



問 豪雪による除雪困難者への対応は

答 特例措置により支援を拡充した



はたけやま かつみ
富山 勝巳 議員

問 今冬の豪雪で除雪困難者への対応はどうだったか。

町長 記録的な大雪は特例措置により、支援の拡充を図った。除雪作業員の不足が慢性化し、その確保が課題であると認識した。

また、公助のみでは難しい状況も生じており、住民共助組織との連携が不可欠であると考え、官民連携体制の検討が必要であると考

問 町道の除雪で住宅前に雪がたまる。除雪困難者是对応できないから、シルバー人材センターに頼むが、雪を捨てる場所がわからない。集落自治会で対応しているケースがあるが、どう考えるか。

町長 作業員不足のため、公助のみでは対応が難しい状況も生じている。地域における支え合いも重要であると考えている。

森岳温泉活性化が見えてこない

問 「みらい創造プラン」に森岳温泉の活性化が見えてこない。どのように活性化させるか、その道筋を示されたい。



森岳温泉活性化協会が主催するビアガーデン

町長 森岳温泉は、本町の貴重な観光資源であり、その衰退に歯止めをかけることは町の重要な使命であると認識している。支援連携する体制を一層強化したい。

問 森岳温泉については「関係団体と話し合っていく」それ以上の話は出てこない。衰退の歯止めを町長はどう考えるか。

町長 活性化のためには、それ相応の投資が必要だと思う。「森岳温泉活性化協会」との連携、町民の理解が必要だと思っている。議員からも意見をいただければありがたい。

問 温泉もある、病院もある、ゴルフ場もある、じゅんさいもある、この資源を生かすのは、町長の手腕だと思う。大学教授などに依頼して、一歩踏み出して検討することはできないか。

町長 プロジェクトチームなど提案は前向きに捉えたい。広く皆さんからアイデア、提案を受け入れたい。

全国町村議会議長会表彰

町議会議員として
15年以上在職

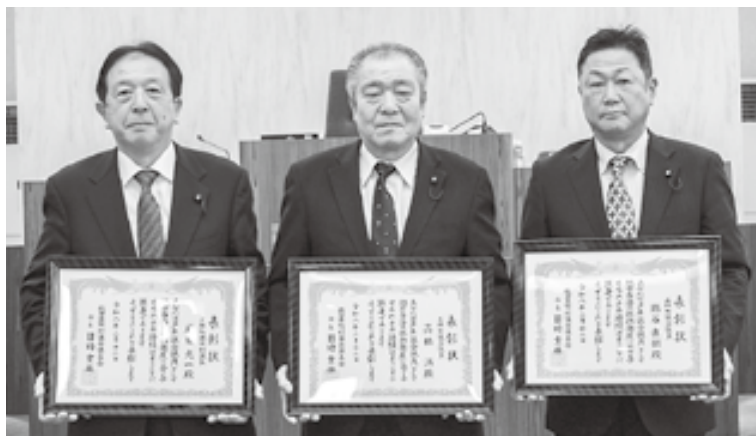


こさわ たかみち
小澤 高道 議員

令和8年2月12日、地方自治の
振興発展に顕著な功績により、小
澤議員が全国町村議会議長会から
表彰されました。

秋田県町村議会議長会表彰

町議会議員として
11年以上在職



なりた こういち 成田 光一 議員
たかはし みつる 高橋 満 議員
さかいや なおき 堺谷 直樹 議員

令和8年2月12日、地方自治の
振興発展に顕著な功績により、3
人が秋田県町村議会議長会から表
彰されました。

町民の皆さま大変お世話になりました

みうら あつし
三浦 敦 議員



私は、5月31日をもちまして、議会議員を
退任いたします。

在任中は、町民の皆様から格別のご厚情を
賜り、心より感謝申し上げます。

そして、先輩や同僚議員、関係者の皆様か
らご指導、ご鞭撻をいただき、本日まで大
過なく職務を果たし得ることができました。

結びに、三種町の更なる発展と、町民の皆
様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、退任
のご挨拶といたします。





とどけ!

ぼくたち・わたしたちの

琴丘小学校6年生の声

「最上級生になってやってみたいこと」

- 地域の人と触れ合いたい。
- 伝統感を持ち、中館番楽をやりたい。
- 下級生の人と仲良くやりたい。

(取材：三村 眞、遠藤 勝昭、児玉 儀広)

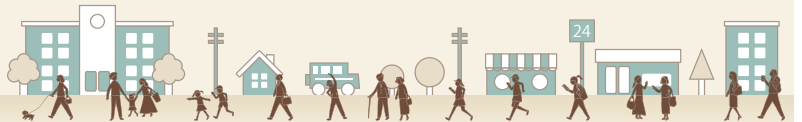


はなしっこ
きがへえ下けれ～



まちかどインタビュー

Can I ask some questions?



Q 議会だよりを読んでいますか？

A 気になるところを読んでいます。

問 読んでいただいている理由はありますか？

答 興味のある情報は知っておきたいからです。

問 議会だよりの改善点・要望はありますか？

答 会議録検索システムと連携させて、必要な情報にアクセスしやすくしてほしいです。



ひもり だいき
檀森 大輝さん(八竜地域)

◇◆ プロフィール ◇◆

八竜中学校・能代西高校卒業。大潟村カントリーエレベータ公社に勤務した後、現在は農業に従事。米・ネギ・メロン・ミニトマトなどを栽培しています。

～ 伝えたいこと ～

昔と変わって人がいなくなったことで地元の行事ができなくなり、また若者の負担が増えています。仕方ないとも思うがなんとかしたいので、若者が暮らせるように稼げる町になってほしいです。観光業に期待をしています。

(取材：森山 大輔)

編集

◆ 広報広聴委員会
委員長 三村 眞
副委員長 遠藤 勝昭
委員 荒谷 山 儀広
委員 児玉 儀 伸
委員 森山 大 輔

編集後記

改選の時期となり、6人の委員で広報編集出来るのも、81号をもって終了です。今後も、伝わりやすい議会広報を目指して、研鑽を積んで参ります。

皆さま、4年間ありがとうございました。
三村 眞 記

